

# 火の見櫓

(題字は 大松八尾市長)

発行所  
 八尾市消防団  
 八尾市高美町5-3-4  
 TEL(072)992-0119  
 FAX(072)992-7722  
 発行責任者  
 八尾市消防団長  
 松村 康正  
 刊行物番号 R5-121



## 夜間での資機材取扱い訓練

令和5年11月25日(土)、18時30分から大阪府中部広域防災拠点にて、夜間帯における救助資機材の活用訓練が行われました。夜間帯で暗闇のなか、限られた照明の下でのチェーンソーやエンジンカッターの取扱い訓練、街灯や照明のないコースを消防車両で後進(バック)し、誘導灯と声掛けで誘導する訓練、そしてAEDや胸骨圧迫など応急救護手順の訓練など様々な資機材を使用した訓練内容でした。外が明るい時間帯とはまた違う緊張感のあるもので、団員のスキル向上に繋がる訓練になったと思います。

また、今回の訓練に使われた資機材は、「消防団の力向上モデル事業」を活用し、あらゆる災害を想定し、市民の安全・安心を確保するため、夜間でも活動できる大規模災害対応資機材を整備するという目的でエンジンカッター、投光器及び防塵マスクを購入し使用しました。

夜間訓練を実施してから約1か月後の令和6年1月1日、能登半島で震度7の巨大地震がありました。報道等を見ると、停電など暗い中、倒壊した家屋に下敷きになっている人々を救助している消防・警察・自衛隊の方々の中に地元消防団の姿をよく目にしました。東日本大震災の時もそうでしたが、その光景を見るたびに、私たちの住むこの町で大きな自然災害が起こった時に、我々消防団員に何が出来るのかを考えさせられます。その意味に於いても良い訓練だったと思います。

◆(高安分団 竹内 孝太郎)  
 ◆(高安分団 上田 聡)

団長挨拶  
活躍できる消防団になるために



団長 松村 康正

このたびの令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

市民の皆様方におかれましては、日頃から、消防団活動へのご理解・ご協力をいただきまして、消防団員を代表し、深くお礼申し上げます。

また、消防団員の皆様は、昼夜を問わず八尾市民の安全・安心を守るため、郷土愛の精神をもって、ご尽力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。当市消防団は、数年前から大規

模災害時の救助活動に備えた資機材の配備を行い、平時の火災はもちろんのこと、今後起こりうる大規模災害に備え、日々訓練に励んでいます。

今回発生した能登半島地震におきましても、消防団の方々も被災されている中、消火、救助のみならず、あらゆる場面で活躍する姿を拝見します。

当市においては、発生が懸念されます南海トラフ地震、また発生した際には被害が最も大きいと想定されます生駒断層地震など、改めて大規模災害が発生した際の役割、活動を再認識いただき、災害を想定した備えを進めていただきますようお願いいたします。そして、日頃から市民の皆様との連携を強化し、更なる八尾市の安全・安心の確保に向け、消防団一同、地域のために鋭利努力してまいりますので、団員の皆様におかれましては、引き続き地域防災力の要としてご尽力いただきますようお願い申し上げます。



大阪府消防表彰受章

令和5年度大阪府消防表彰として、本市からも大阪府知事表彰をはじめとして、多くの団員が栄える表彰を受章しました。

【大阪府知事表彰】

○消防功労章

- 南高安分団 分団長 北本 晃史
- 八尾分団 副分団長 中村 佳照
- 山本分団 部長 藤井 保士
- 志紀分団 部長 山科 輝明

【日本消防協会会長表彰】

○精績章

- 団本部 副団長 松本 徹

○勤続章

- 志紀分団 分団長 中村 博志

【大阪府消防協会会長表彰】

○永年勤続章

- 志紀分団 副分団長 角倉 武士

○勤続章

- 団本部 方面隊長 山中 篤
- 大正分団 副分団長 中川 憲一
- 曙川分団 副分団長 北林 丈善
- 南高安分団 副分団長 坂本 敦浩
- 山本分団 部長 塚尾 誠一

○勤功章

- 久宝寺分団 副分団長 藤原 道洋
- 大正分団 部長 竹田 豊茂
- 曙川分団 部長 金武 正亮
- 南高安分団 部長 松倉 祥宏
- 南高安分団 部長 坂上 大介
- 南高安分団 部長 山本 大寛
- 高安分団 副分団長 植田 恭啓
- 高安分団 部長 稲本 篤彦
- 高安分団 部長 山下 直樹
- 高安分団 部長 竹内孝太郎

○精勤章

- 久宝寺分団 部長 後根 健一
- 大正分団 部長 佐々木一智
- 大正分団 部長 森口 正明
- 大正分団 部長 山内 聡
- 南高安分団 部長 馬谷 康大
- 南高安分団 部長 市田 篤史
- 南高安分団 部長 辻野 孝志
- 南高安分団 部長 田ノ岡純平
- 南高安分団 部長 松村 基輝
- 高安分団 部長 増田 卓司
- 高安分団 部長 上田 聡
- 高安分団 部長 樋口 善史



幹部科初級指導課程

令和5年10月15日(日)、大阪府立消防学校にて、幹部科初級指導課程に参加して来ました。最初に座学(安全管理)があり訓練中や各種災害現場での安全管理を過去の映像や事例をもとに受講しました。いざ現場に出ると安全という状態は、ほとんど存在しないことから、危険を危険と認知する事が、安全管理の出発点である事を再認識し、安全管理の「ABC」を実践する必要があります。この「ABC」とは、「A」あたりまえの事を、「B」ぼんやりとせず、「C」ちゃんとやる。



この座学で学んだ事を忘れず絶対に受傷事故を起こしてはならないという、安全管理の意識と基本を大切に今後の現場活動や訓練に活かしていきたいです。座学の後は、グラウンドにて規律訓練、ホース延長訓練、救助資機材(チェンソー)の取扱訓練、放水訓練を行い、各訓練では、基本的な動作を再確認しながら実践しました。今回学んだ事を地元分団のみんなにも伝え、自分自身のスキルアップと共に今後の消防団活動に活かしたいと思います。

◆(久宝寺分団 岩本 暢宏)

曙川東小学校区 自主防災組織訓練

令和5年10月29日(日)、曙川東小学校にて、晴天の下、防災訓練が開催されました。今回の参加者は約320名で、地区ごとに4班に分かれて訓練が行われました。この訓練では、地震で火災が発生した場合、すぐに消防隊が到着できないことを想定し、自主防災組織が初期段階の火災で消火するための取り組みです。開会の挨拶の後、消防署員から可搬式ポンプの操作説明があり、訓練参加者による放水訓練が行われました。その後、各班に別れて【通報訓練】119番通報の際にいかに冷静に何が起きたのか、起こった状況を説明できるか、【煙中体験訓練】煙の恐ろしさを知るために、無害の煙をテ



ト内に充満させ、その中を通過、【応急担架の作成と搬送】毛布、物干し竿等の身近なものを使っての負傷者の搬送、【初期消火訓練】基本的な消火器の取り扱い方法、各班のチームプレイが必要なバケツリレー、【応急手当等習得訓練】胸骨圧迫のやり方や、AEDの使用方法、また三角巾を使用した応急手当、老若男女問わず真剣に楽しみながら、訓練に取り組んでいただきました。何度も参加されることよって、防災力の向上に繋がりますので、継続して訓練を実施していただきたいと思いました。今年発生した能登半島地震で、改めて地域防災力がクローズアップされています。「災害は忘れた頃にやってくる」という事を、我々消防団が継続して啓発していかなくてはならないと感じました。

◆(曙川分団 宮原 雄真)



秋の火災予防パトロール

秋季火災予防運動は、11月9日〜15日にかけて全国各地で実施されており、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたって、住民に防火防災意識や防災行動力を高めてもらうことにより火災発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

八尾市消防団の各分団においても、この運動の重点目標でもある、住宅防火対策・放火火災防止対策などの推進を念頭にそれぞれの管轄地域で、夜間巡視パトロールを実施しています。



西郡分団でも、各団員がそれぞれ分担し、一週間、毎日地域の巡回を行いました。

市民への防火広報や放火防止が主な目的ではありますが、各団員が消防車の運転に慣れる機会にもなり、また、災害出動の際に、スムーズに現場に向かえるように道を再度確認する良い機会にもなります。

この火災予防運動を行うことで、住民一人ひとりの防火意識が高まり、火災及び災害に強いまちづくりにへと繋がれば幸いですと思います。

◆(西郡分団 浅野 一昭)

第28回全国女性消防団員活性化 石川大会

令和5年11月16日(木)、いしかわ総合スポーツセンターにて「第28回全国女性消防団員活性化石川大会」が開催され、八尾市消防団からは女性3名が参加しました。

この大会では、全国で活躍する女性団員の活動事例発表があり、今回大阪府が「大阪救命体操」の活動発表を行いました。この体操は以前「全国女性消防団員活性化大会」で披露したことや、FMちゃ



お収録の際にリクエストしたことがあるものです。

今までの参加は見学のみでしたが、今回は初舞台を踏ませていただき、有意義な時間を過ごさせていただきました。大会後はコロナで中止になっていた「情報交流会」が久しぶりに行われ、全国の消防団員の方から、「大阪救命体操」についてお褒めの言葉をいただきました。

今大会で受けた刺激や経験を今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

◆(女性分団 寒川 純子)

消防署・消防団合同  
放水訓練

令和5年11月19日(日)、大阪府中部広域防災拠点にて、消防署・消防団合同放水訓練を実施しました。当日は天候にも恵まれ、開会式を行った後、全分団が操法を行いました。

今回の訓練は火災現場を想定した訓練で、防火水槽から車輛へ吸水し、2箇所障害物を通り抜けながらホースを2本延長します。



火点は2箇所あり、1つ目は横倒しのドラム缶を水流にて指定の場所まで移動させ転進、その後火点に見立てて吊るされている標的を落とすタイムを競う訓練です。各消防団員が各々工夫を凝らしながら安全且つ迅速に操法を行っており、日頃から精度の高い訓練が実施されている事が裏付けされた合同訓練となりました。

最後に橋本署長からスピードも大切だが、不測の事態が起こっても冷静に対処する事が一番大事だと御言葉を頂き、身が引き締まる思いで終了しました。

◆(南高安分団 巽 純也)

消防団員ドローン操作講習  
と消防団員募集のお知らせ

令和5年11月25日(土)、26日(日)の2日間、貝塚市立ドローン・クリケットフィールドにて、消防団員ドローン操作講習があり、龍華分団より団員1名が参加しました。

講習内容としては座学(ドローンを操作するために必要な法規、ドローンの構造)と実習(ドローンの基本である応用操作、夜間飛行や運用ルールプレイングなど)があり、とても貴重で有意義な講習でした。

近年、様々な災害時においてド



ローンが活用されており、消防団としてもドローンに関する知識や操作技術を習得することは、災害時などの被害状況の早期把握ができ、地域防災力の向上にも繋がるので、今後も継続してこのような講習があれば積極的に参加していきたいと思えます。

龍華分団は現在11名の団員が在籍しています。各々が職業を持ちながらも「地域の安全を守る」ことを使命とし、日々活動しています。これから何か始めたいとお考えの方や地域活動に参加したい方、地域に貢献したい方、入団をお待ちしています。

◆(龍華分団 大内 一宏)

大正北小学校区  
まちづくり協議会防災訓練

令和5年12月10日(日)、大正北小学校にて、まちづくり協議会主催の防災訓練が、地域住民とまちづくり協議会役員の約50名・消防職員・消防団大正分団木の本分隊の参加で行われました。

水消火器を使った【初期消火訓練】・被害がある状況下を想定した【応急担架作成訓練】・油圧ジャッキを使用した【倒壊家屋救出訓練】・災害下での自然水利の使用を想定した【可搬ポンプ取扱訓練】・心肺蘇生を学ぶ【AED取扱い訓練】を行いました。被災を想定した訓練に参加者全員が真剣に取り組んでいました。

中でも可搬ポンプ取扱訓練では、被災下で消防車や救助が現場に駆



けつけることができない場合や消火栓が使えない状況を想定し、可搬ポンプと機材の取扱い方、放水時の水圧で飛ばされたりする危険性や被害を拡大させない重要性を学びました。

近年は被害を最小限に抑えるための【減災】が重要視されています。【減災】に欠かせないのは、地域コミュニティの連携と、住民同士の助け合いです。

今回の訓練で、参加者が防災と減災に対する重要性を認識することができ、地域防災の向上に繋がったと思います。大正分団としても皆様に安心を届ける事が出来るよう、地域に根付いた活動を心がけ、より一層励みたいと思います。

- ◆(大正分団 今仲 幹夫)
- ◆(大正分団 西田 祥久)

機関科ポンプ車課程

令和5年12月10日(日)、大阪府立消防学校にて「機関科ポンプ車課程」が晴天の中行われました。

大阪府下から約80名の団員が集まり、八尾市消防団からは八尾分団1名、龍華分団1名が参加しました。

消防ポンプ自動車・可搬ポンプ積載車等の構造の基礎知識を理解して、迅速かつ的確に運用できる技能を修得するのが目的です。



午前中は株式会社モリタの講師から、消防ポンプ自動車の基礎知識を学びました。CD・1型消防ポンプ自動車の構造及び各部注意点を学び、非常に勉強になりました。

午後はグラウンドにて、消防学校教官及び株式会社モリタの講師からポンプ車を運用して中継送水による放水訓練等を行いました。

実際の現場で活かせるように日頃から訓練をしておかなければならないと講習の重要性を感じました。

- ◆(八尾分団 梅本 司)

歳末夜警

令和5年12月29日(金)、30日(土)の2日間にわたり、まだまだコロナやインフルエンザの感染が多い中、感染症に気をつけながら消防車両で管轄地域の歳末警戒パトロールを実施しました。

29日には消防団長をはじめ消防団幹部と各種団体代表の方々が激励に來られました。

歳末警戒パトロールは、日頃あまりお会いすることの無い地区役員の方や、自治会の方々とお顔を合わす良い機会になっています。



また、コロナ禍では自粛していましたが他分団の屯所に伺い情報の共有や今後の団活動の在り方を話し合う良い機会にもなりました。

消防団としましては、地域の方々に消防団活動へのご理解とご協力を賜り、より一層地域住民の方々と連携強化協力し、地域防災に役立てられたらと考えております。

- ◆(志紀分団 竹田 哲郎)
- ◆(志紀分団 藤木 達哉)

三十八神社とんど

令和6年1月14日(日)午後1時から三十八神社にてとんど祭りを行いました。

新型コロナウイルス拡大前には、夜間にとんど祭りをやっていたのですが、人の集まりの問題もあり、福万寺ではお昼からとんど祭りの開催となりました。

最初に三十八神社の宮司様より消防団員代表として3名、お祓いしていただきました。



その後、境内に集められたしめ縄、お札に火がついたと思えば、地域の方々も、続々と集まり、コミュニケーションの場となりました。

皆様の協力もあり、無事にとんど祭りを終えることができました。協力とは、大事な事だと再認識できました。

- ◆(山本分団 岩崎 裕司)



動画掲載のお知らせ

令和5年11月25日(土)に、大阪府中部広域防災拠点において実施されました夜間資機材等活用訓練の様子が、八尾市公式YouTubeにアップロードされています。
※左のQRコードを読み取ると動画にアクセス可能です。ぜひ一度、ご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=i7Jst13g9UM
「令和5年度 夜間資機材等活用訓練」

新基準活動服紹介

令和6年度から、高視認性の活動服を導入することとなりました。市民の皆様にも一目で消防団員であると認識していただけるようなデザインになっています。令和6年度に入団される新団員から、順次着用していきます。



← 旧活動服 →
→ 新基準活動服

令和6年度

消防団行事予定

- 4月 消防団員任命式
恩智川水防訓練
大阪府地域防災総合演習
初任基礎教育訓練A課程
5月 初任基礎教育訓練B課程
中河内地区支部消防総合訓練
6月 女性団員研修会
大阪府消防大会
7月 全国女性消防団員活性化大会
資機材取扱い訓練
8月 消防総合訓練
9月 秋の火災予防運動
10月 消防署・消防団合同放水訓練
11月 大阪府女性消防団員連絡会議
12月 歳末特別警戒
1月 消防出初式
文化財訓練
2月 水防視察研修
消防団充実強化研究会
春の火災予防運動
3月 消防記念日式典
大阪府消防表彰式

編集後記

広報部員の皆様と消防団係職員の皆様に支えていただいたおかげで、48号・49号を発売でき、委員長の大役を務めあげることが出来ました。中でも、48号は分団長会議を取材するという、新たな取り組みをさせていただき、心より感謝申し上げます。広報部会に携わることが出来たことを、大変嬉しく思っています。広報部会の今後さらなる活躍と、火の見櫓の発刊を楽しみにしております。

今仲 幹夫

広報部員名簿

Table with columns for positions (委員長, 副委員長, 委員) and names of members across various divisions (e.g., 大正分団, 久宝寺分団, etc.).